

第2日

【小倉競輪場】 電投番号 [8 1 #]

2022/M/D

■ ■ 1 R ■ ■ 出走表 (本命率 5 0 %)

<展望> 『瀬戸内・九州は五分の争い』

予選の①(野見)は119期の川野深に前を取られ、叩きに行きはしたが、ハナから突っ張る気の川野に手も足も出なかったが、小倉バンクはデビューから好走してるイメージがあり、1番車に成った以上は予選でやりたかった突っ張り先行か中団キープしての捲りで何としても1着ゴール。番手は70点キープしてる巧者②(沖)、久々に首位のチャンス。7月防府で落車した影響は微妙に残ってる⑤(真崎)の予選は、121期の伊藤温希を相手に2周逃げて居り、これが練習に成ったなら、④(中塚)⑥(竹野)と決める先行・捲りこそが本命かも。力あるのに、どうしてか仕掛け様としなかった③(永橋)、自信無いか単騎と決めた事で、⑦(中武)は瀬戸内へ。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 野見泰要 川野の突っ張りにやられたが、悪くない。先行主体の自力。
- 2 沖 健一 展開にやられたけど、やれそうです。野見の番手。
- 3 永橋武司 中武さんと一緒でも、自力は出せないで単騎。
- × 4 中塚記生 突っ込むコースが無かった。真崎に任せる。
- ▲ 5 真崎章徳 捲られはしたが感じ良く踏めた。自力です。
- 6 竹野行登 伸びたし悪くなかった。九州で3番手。
- 7 中武克雄 永橋が動かないなら瀬戸内の3番手。

<展開予想>

←【1】27【5】46【3】

<穴を探る> 九州トリオで上位独占。4=5 4-6

2車単 1=2 1=5 1-4

3連単 1=2-57

■■ 2 R ■■ 出走表 (本命率 70%)

<展望>『先行1車に成った「川本」が押し切る』

予選は121期の中山遼太郎に前を取られた事で鐘前から仕掛け、壮烈な先行争いを演じた②(川本)、着は悪かったが内容はあったし、当面のライバル①(板橋)が急遽欠場した事で逃げる候補は一人、高校・大学(法政)で競技をやったエリートでもあり、余程のアクシデントが生じぬ限り逃げ切りは不動視される。中国ラインで、最高に明るい努力の④(阿部)が気合入れてマーク。先輩⑦(大崎)と話して中国の後に決めた⑤(竹村)の突っ込みは穴党に。(板橋)が欠場した事で目標不在に成った③(中条)⑥(山本)は顔見せ参考。

<出場予定選手コメント>

- 欠1 板橋慎治 (急性腰痛で当日欠場)
◎2 川本琢也 中山に突っ張られたが、悪くない。油断せず逃げます。
×3 中条憲司 (中部の後と決めてたが、板橋が欠場したので顔見せで)
○4 阿部亮治 前を残してやったんですよ(笑)。川本の番手を守る。
△5 竹村達也 板橋さんを当てにしたのが失敗。先輩と話して、中国の後。
6 山本晋平 (板橋の番手だったが、居なく成ったので顔見せ参考)
7 大崎世志人 前に付いて行けなかったのが現在の脚。再度、竹村。

<展開予想>

←【2】457 3 6

<穴を探る> 3番手(竹村)が差し切る。5-2

2車単 2-4 2-5 2-3
3連単 2-4=5

■■ 3 R ■■ 出走表 (本命率 70%)

<展望>『逃げる「米村」を「伊藤」が捲る展開』

予選の①(伊藤温)はデビューしたばかりの新人であれば前が緩んだ鐘で仕掛けるのに、敢えて待ったのは将来的には「追い込み型」を公言してる脚質、先輩から小倉バンクは2角から仕掛けたら3角で止まると聞いてたのを活かし、ホーム捲りを決めたもの、こゝは同期②(米村)と2分戦ならば、突っ張り乍ら(米村)を出しての捲りを考えているのでは。マークする先輩③(林)は付いて行けるかどうかなので、予選の逃げ切りは見事だった(米村)が力に対抗。調子上げてる④(高尾)が点数を盾に(米村)の番手を主張した事で、⑦(秋永)は3番手を固める事に。⑤(江口)と⑥(藤野)の西九州コンビは話をしてこの並びで落ち着く。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 伊藤温希 バンクが軽くて、踏んだ瞬間行けると思った。自力。
○2 米村光星 大窪さんと決まり、予選初めての1着。伊藤に負けない自力。
×3 林 洋二 調子は悪くない。温希(伊藤)に付いて行きます。
△4 高尾剛文 深(川野)の踏み直しが凄かった。米村の番手に行く。
5 江口晃正 恵まれました。貴章と話をして、岐阜に行きます。
6 藤野貴章 久し振りにしては悪くなかった。秋永さんの後。
7 秋永共之 思ってた以上に走れた。高尾さんの後を固める。

<展開予想>

←【2】476【1】35

<穴を探る>(米村)の逃げに(高尾)。2=4

2車単 1=2 1-4 1-3
3連単 1-2=34

■ ■ 4 R ■ ■ 出走表 (本命率 60%)

<展望>『新鋭「中山」「川野」注目の主導権争い』

予選の①(中山)はハナから逃げると決めていたのか赤板から飛び出し、好スピードで叩きに来た川本琢也を鐘前で突っ張り切った事で最後はタレて、②(田中孝)に残して貰った形に成ったが、抜かれたのは反省か、こゝは1期先輩④(川野)と2分戦に成り、厳しい闘いに成るが、大先輩⑤(大窪)に作戦を立て、それを実践すれば1着取れる力量。予選の逃げ切りは、中途のスピード、踏み直しとパーフェクトだった(川野)は、後を信じて逃げの組み立てか。3前回佐世保の優勝は大きな自信に成ってる(田中)の連勝こそが、このレース一番の狙いかも。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 中山遼太郎 前を取った時点で突っ張り決めていた。調子は大丈夫。先行基本。
- ▲ 2 田中孝法 中山は作戦会議時から頼もしかった。久留米の後輩川野。
- × 3 竜門孝宗 伊藤に付いて行けたし、脚は問題無い。熊本の後。
- 4 川野 深 ラインで決まって良かった。田中さんに任されたので自力。
- 5 大窪輝之 光星(米村)は作戦通り逃げてくれた。遼太郎(中山)。
- 6 富永昌久 止める事が出来れば良かったが。久留米の後。
- 7 陶器一馬 捲りに3番手で付いて行けたので前回よりマシ。切れ目。

<展開予想>

←【1】53 7【4】26

<穴を探る> 久留米コンビで独占。 2=4

2車単 1=4 1=2 1-3
3連単 1-4=2 4=2-1

■ ■ 5 R ■ ■ 出走表 (本命率 65%)

<展望>『予選のやる気で「富安」が本命』

予選の①(富安)は九州5人を相手に、敢えて単騎に決めてやった事は後尾からの大カマシ、スピード良過ぎて先頭に立つのが早く、檜原由将に追い付かれ、捲られはしたが気配は光ってたし、こゝはラインの大先輩③(三浦)に任されたなら先行ありの自力で調子の良さを証明する。息子(貴大)と練習してるのか、58歳の年齢が信じられない(三浦)なら逆転迄も。チャレンジの頃とは程遠い②(大槇)だが、④(星島)が後なら捲りに構えず逃げて罰は当たらない。予選の逃げは着以上だった⑦(吉田勇)の自力には先輩⑤(瓦田)で、⑥(後田)迄が九州ライン。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 富安保充 動くしかなかったが出切れたので。任されたので自分で。
- × 2 大槇大介 入れて貰えると思ったけど・・・自力で頑張ります。
- 3 三浦 靖 富安と話して任せる事に、付いて行きます。
- △ 4 星島 太 大槇とはあいつが上がって来た時に1度連携してる。
- 5 瓦田勝也 外が気に成り、伸び切れなかった。勇気(吉田)。
- 6 後田康成 南部は頑張ってくれましたよ。こゝは地元の3番手。
- 7 吉田勇気 阿部さんが1着なら良かった。ラインで決める自力。

<展開予想>

←【7】56【1】3【2】4

<穴を探る> (富安)の首位で地元コンビ。 1-5 1-7

2車単 1=3 1-4 1-2
3連単 1-3-24

■■ 6 R ■■ 出走表 (本命率 65%)

<展望> 『調子一息「西谷」それでも絶対本命』

前検日に体調不安を匂わせてた①(西谷)、それが予選の捲り不発だったのかも、走ると決め、しっかり修正した以上は予選の事があるので自力でも前々を心掛ければ人気に応える可能性は高い。番手に成った②(辰己)の予選は単騎でも動いていたのは好調、(西谷)次第では抜く方が狙い。てっきり近畿の後に行くと思われた③(田村)は考える事があったのか決めずとコメントした事で、⑦(大田)も何故か一人だけど、2人共近畿の後が自然な形。九州トリオは若い⑥(瀬口)が「自力」に決めた事で、動ける④(南部)は任せて、欠明けの⑤(澤亀)は3番手。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 西谷岳文 人気してたのに済みません。セッティングを修正して2日目こそは。
- 2 辰己 豊 2角で行ってれば決まったかも。西谷に任せます。
- △ 3 田村浩章 調子は大丈夫。このメンバーなら決めずが良いでしょう。
- × 4 南部亮太 後田先輩に迷惑掛けた。澤亀さんと話して、瀬口君。
- 5 澤亀浩司 見ての通り良くはないですね。九州で3番手固める。
- 6 瀬口 匠 やっぱり他人の後は難しい。こゝは自力です。
- 7 大田啓介 田村は決めずですか、僕も決めずにします。

<展開予想>

←【1】 2 3 7【6】 4 5

<穴を探る> (辰己)が一気に追い込む。2-3

- 2車単 1=2 1-3 1-4
- 3連単 1=2-3 4

■■ 7 R ■■ 出走表 (本命率 60%)

<展望> 『先行命「蔣野」が逃げ飛ばす』

初のS級点はボーダーなので逃げと決めず、2前回の武雄みたいに捲りに追い込みを応用するかと思われた初日特選の①(蔣野)、考え直したのか、やった事はこれ迄通りの鐘前先行、結果は捲られて大敗したものの、気合入って居り、こゝは⑥(中石)と2車に成ったが逃げるにしても捲りに成っても最終バックは握る積極自力。加倉正義(8R)の弟子は④(檜原)③(阿部)、前に成った(檜原)は自力主体でも、その気に成れば捌きは強烈なのでワン・ツー決める運行を心掛けるか。特選は吉田篤史を追い切れなかった②(松田)は、⑤(藤井)⑦(片山)の近畿コンビに任された事で、本来の自力で狙うは決勝進出。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 蔣野翔太 力は出し切りました。調子は大丈夫。何時も通りの自力。
- × 2 松田 大 藤井将君のブロックは強烈でした。こゝは自力勝負。
- △ 3 阿部兼士 前回の福井決勝で連携した弟々子の由将(檜原)。
- 4 檜原由将 今日の1着は展開一本。兄弟子の前で自力です。
- 5 藤井孝則 徳田が強くて、ハコ3、済みませんでした。こゝは松田。
- 6 中石昌芳 大槓を入れたかったけど…。蔣野の番手は初めて。
- 7 片山弘城 先に踏んでしまい、藤井に悪い事した。再度、後です。

<展開予想>

←【1】 6【4】 3【2】 5 7

<穴を探る> 久留米コンビで独占。3=4

- 2車単 1-6 1-3 1-2
- 3連単 1-6=2 3

■ ■ 8 R ■ ■ 出走表 (本命率 60%)

<展望> 『特選快勝「立部」勢いで連勝』

S級点を決めるにはノルマの出走回数に少しだけ不足してる②(立部)、初日は展開に恵まれたとは言え動きは俊敏だったのは間違いなく好調、地元①(加倉)④(内山)の前に成った以上は先行主体に自信ある捲りを応用しての再勝。練習しかしてない古豪(加倉)は踏み出しに難があるだけで調子は問題無いので、(立部)が逃げてくれたら余裕で残しに行く。地元戦は5割増(内山)の突っ込みは盲点。予選の2周逃げ切りは圧巻だった③(徳田)のハイパワーは九州より上の評価。⑤(宮西)が中近の絆でマーク。小倉に強い⑥(宮崎)⑦(谷口)の高知コンビが第3のライン。

<出場予定選手コメント>

- 1 加倉正義 立部と呼吸が合わなかった。脚は大丈夫。再度ですね。
- ◎ 2 立部楓真 HSで仕掛けなかったのは反省。地元2人と決めます。
- ▲ 3 徳田 匠 小倉は凄く走り易い、踏み直しも。力出し切る自力です。
- × 4 内山 拓 一寸抜き過ぎたが松本が残り良かった。九州3番手。
- 5 宮西 翼 最後に良いコースを踏めた。徳田の番手は初。
- 6 宮崎一彰 徳田はタレないし強いですね。谷口に任されたので自力。
- 7 谷口幸司 狙い通りでした。宮崎先輩とは初連携です。

<展開予想>

←【2】14【6】7【3】5

<穴を探る> 福岡コンビで決まる。1-4

2車単 2=1 2=3 2-4
3連単 2=1-34

■ ■ 9 R ■ ■ 出走表 (本命率 80%)

<展望> 『V候補筆頭「吉田篤」の首位不動』

特選の①(吉田篤)は流れで6番手に成り、タイミングも考えずホーム前から捲りに行ったら、この③(藤井)にイエローライン迄持って来られ止まったが、あきらめず2着に入ったのは調子であり本命人気の責任感、②(吉田健)⑤(山田)の中部ベテランコンビに任された事で、考えてるのは長い距離をモガく先行だが、展開のアヤで捲りに成った時は後続を引き離しても何等不思議ないハイパワー。実績の(吉田健)は(吉田篤)の後輪に集中。予選で④(中園)と激しく競り合い乗って来た(山田晃)の差脚に、自分でやる事に成った小倉バンクに強い(藤井)迄の2・3着争いは伯仲。尚地元(中園)は、⑦(松本)に任せるでは厳しいかも。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 吉田篤史 行けたと思ったが内を行かれては。人気に応える自力。
- 2 吉田健市 HSで前に離れたので修正する。篤史(吉田)の番手。
- △ 3 藤井 将 ちゃんと仕事してやれず蔭野に悪かった。自在に何でも。
- 4 中園和剛 山田さんが強くて人気してたのに済みません。初の松本。
- × 5 山田晃久 番手勝負するしかなかった。調子は良い。中近で3番手。
- 6 山根泰道 4着で準決なら悪くない。将(藤井)に任せる。
- 7 松本一志 突っ張りは作戦通りでした。中園さんの前で自力。

<展開予想>

←【1】25【3】6【7】4

<穴を探る> (吉田篤)の首位で(中園)。1-4

2車単 1-2 1-3 1-5
3連単 1-2-35